

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	各務原市福祉の里児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和6年10月7日 ～ 令和6年10月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	108名	(回答者数) 96名
○従業者評価実施期間	令和6年10月7日 ～ 令和6年10月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者支援。	・毎回の指導の様子を保護者の方に見て頂いたり、参加して頂いたりしながら、お子さんの様子を担当職員と共有している。また、保護者の方の不安や、家庭での困り感に対して、一緒に考えたり、具体的に助言している。 ・定期的に保護者向けの勉強会を行い、見通しを持って子育て出来るよう、情報を提供している。	・今年度から、指導日以外に来て頂ける『親子遊びデイ』を開始した。今後は、更に内容を充実させ、より多くの方に利用して頂けるようにしていきたい。 ・家庭支援プログラム『ベアトレ』を行うと良いと感じている。当事業所の保護者に合った方法(時間帯、頻度、流れ等)を検討していきたい。
2	・地域支援。	・お子さんの在籍している園に、年に1回程度訪問させて頂いている。園のお子さんの様子を見せて頂き、担任の先生と、お子さんの困り感や支援方法について話し合う機会としている。必要に応じて、再度、園訪問を行う等して、お子さんの発達を支えられるよう連携している。	・園の先生に活動の様子を見て頂いたり、普段から気軽に相談してもらったりして、一緒に考えていけるような、中核機能的な役割を果たしていきたい。
3	・本人支援。	・お子さんの発達段階や特性等に配慮した環境や遊びを提供している。個別活動や親子活動等、固定のグループに捕らわれず、臨機応変に対応するよう心掛けている。 ・家庭や園、事業所での様子、発達検査の結果や小児科診察での医師の助言等を参考に、総合的にお子さんの姿を判断するようにしている。	・子ども達が事業所に来た時に、安心して自分を出し、過ごしてもらうことは勿論、普段主に生活している園で、楽しく過ごすことが出来るようにしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用時間や回数(5日/月)が固定になっていること。	・利用人数が多い為、固定でないとうまく回転しない。また、支援終了など、先の見通しが持ちにくく、利用日変更など臨機応変に対応することが出来ない。	・固定の時間以外にも、保護者に来て頂いて相談を受けたり、園に訪問したり、他事業所と情報共有したりして連携を図る等、より丁寧な支援を心掛けたい。
2	・利用時間が短い。	・たくさんのお子さんを受け入れるために時間割を組んでいる。そのため、それぞれの利用時間が短くなっている。	・固定の時間以外にも、保護者に来て頂いて相談を受けたり、園に訪問したり、他事業所と情報共有したりして連携を図る等、より丁寧な支援を心掛けたい。また、親子で遊ぶ活動の日を月2回設けて、希望者に参加してもらっている。
3	・不便な場所にある。	・市の中心部から離れており、電車やバスの便も悪い。 ・送迎に使える車の台数が少なく、送迎を担当するための職員配置に余裕がない。	・送迎のバスや車の台数、便を増やせると、利用してもらいやすい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	各務原市福祉の里児童発達支援事業所
------	-------------------

公表日 令和7年3月13日

利用児童数 令和6年10月現在 108名

回収数 96名 89%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	93	2		1		・当事業所の設備については、国の基準に基づいて設置しています。指導室以外にも、活動によっては、アリーナや戸外等、その他の場所にて活動を行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	86	4	1	5	・手厚くてビックリしました。 ・一人一人に先生が付いていて下さり、ありがとうございます。 ・先生一人で子ども2人は大変だと思う。面談も時間が掛かるので、保護者からしても、1対1だと助かる。 ・一人に一人先生がついてくれて手厚い。	・お子さん1～2人に対して、職員1名の担当制で行っています。保育士、言語聴覚士等の専門的な職員を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	91	4		1		・指導室等は、刺激となる提示物や物品は取り除き、絵カードや写真等で、活動の流れを分かり易く示す等、環境に配慮しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	95			1	・施設が古い為、仕方ないのですが、さくらのトイレが暗いので怖がる。流す際に使用するレバーが、児には固いようで流しにくそうにしている。	・清潔で、子ども達が使い易くなるよう、トイレの改修工事を予定しています。
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	93	3			・同じことをやるのもいいけど、新しいことも沢山取り入れてほしい。 ・一人一人の特性に応じて、接し方を工夫されていると思います。	・家庭や園、事業所での様子、発達検査の結果や小児科診察での医師の意見等を参考に、総合的にお子さんの姿を判断し、活動の中でお子さんの特性に合わせた支援を行っております。新しいことも積極的に取り入れていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	90	2		4		・お子さんの発達や力に合わせた遊びを提供しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	95	1				・事前にニーズをお聞きして、児童発達支援計画を作成しています。半年ごとに見直しを行っています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	94			2	・『児童発達支援ガイドライン』を余り把握していません。	・児童発達支援計画書には、お子さんの様子や保護者の方のニーズを元に「発達支援」「保護者支援」「地域支援」等の項目別に具体的な目標と支援内容を設定しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	96					・療育を実施するにあたって、支援目標・支援内容を考慮しながら、活動を組み立てています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	81	6		9	・『活動プログラム』を把握していません。	・お子さんの発達や姿を毎回振り返りながら、支援方法を考えています。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	69	6	6	15	・クラスの子は皆、違う幼稚園なので、ちょっと話す機会はあります。		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96					・契約時や年度初めに、ご説明させて頂いております。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96					・児童発達支援計画書について、目標と支援内容について説明を行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	88	3		5		・現在さくらでは家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)は行っておりませんが、保護者の方の心配や不安について一緒に考えたり、助言をさせていただいたりしております。また、今年度から『親子遊びデイ』を新たに開催し、お子さんと一緒に遊ぶことで、お子さんの興味のあることを発見したり、関わり方を職員と一緒に考える等の機会が持っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	各務原市福祉の里児童発達支援事業所		公表日		令和7年3月13日			
	利用児童数		令和6年10月現在		108名			
	回収数		96名		89%			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	92	4			・分かりやすく伝えられています。	・活動の後には、懇談時間を設けています。通常の活動後の時間以外で、必要に応じてご相談を承ることも可能となっております。また、定期的なモニタリング時や園訪問、発達検査実施後等で、懇談会を設けております。 ・医療的な面については、看護師が聞き取りを行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	93			3		・お子さんの姿を保護者と共通理解していけるよう努めていきたいと考えています。 ・活動後には毎回、懇談時間を取り、保
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	82	8		6	・余り、行ったことがないので、分かりません。	・保護者会という組織は作っておりませんが、保護者向けに、就学についての勉強会を行っています。（さくらんぼトーク年4回程度）また、終了児の保護者向けに座談会を設け、保護者同士が繋がりを持てる機会を持ちました。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	63	13		20		・毎回、活動後の懇談にて、活動の様子を保護者の方と共有させて頂いております。また、家庭や園でのお子さんの困り感について助言等の対応をさせて頂いております。その他、半年に一度の個別懇談や園訪問の報告等では、活動時間を当て、保護者の方とゆっくりお話しする時間を設けております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95	1				・ことばと共にサインで伝えたり、視覚的にわかりやすいように写真や絵カードを使用しています。また、保護者には案内や必要な情報を分かりやすく掲示してお知らせしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	65	10		21		・適宜、お便りを発行しています。 ・事業所評価の結果はホームページにて掲載の予定です。 ・廊下の掲示等で、ご案内させていただきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91	2		3	・手厚いと思います。	・個人情報に記載された書類やUSBは、鍵のついたキャビネットに保管し、適切に管理しております。また、園や市教委、病院等の、各関係機関との連携については、事前に保護者に内容や目的を確認し、承諾書を頂く等しております。お子さんにとって必要な情報については、必要最小限の範囲で、各関係機関と共有させて頂いております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	78	6		12	・訓練はタイミングが合わず、受けたことが無いので分かりません。	・各種マニュアルの周知、説明等は、例年、契約時や年度の始め等にご説明や紙面での案内を行っております。 ・避難訓練は毎月1回、色々な曜日、時間帯で行っており、活動時間に重なった利用者の方に参加して頂いています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	55	8		33	・見たことが無いので、分かりません。	・発生を想定した訓練は毎月行われ、保護者の方とお子さんに参加して頂いています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	80	4		12		・計画書の中で、安全確保の為に手を繋ぐ等の身体拘束を行うことがあると、周知して頂いています。また、戸外の活動では、事前に下見に行く等して、安全に活動出来るようにしています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 各務原市福祉の里児童発達支援事業所

公表日 令和7年3月13日

利用児童数 令和6年10月現在 108名

回収数 96名 89%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	72	6		18	・まだ、そのような経験がありません。	・事故等が発生した際には、すみやかに保護者の方に連絡し、看護師に診てもらっています。必要があれば、医療機関を受診して頂いています。また、翌日以降お電話する等して、その後の様子を確認させて頂いています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	93	3			・いつもウキウキで通園しています。 ・先生との良い距離感が居心地が良く、安心しているようです。 ・みんな大好きです。	・活動に対して不安のあるお子さんに対しては、お子さんの好きな遊びを取り入れて、活動に参加しやすしたり、保護者の方と一緒に入室して頂く等して、無理なく参加出来るよう、配慮しています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	89	7			・毎週、とても楽しみにしています。 ・毎週「さくらにいく！」と、とても嬉しそうに言っています。終わってから、いつも「さくら、たのしかった！」と嬉しそうに伝えてくれるので、こちらもすごく嬉しいです。 ・いつも率先して支度しています。 ・保育園より、さくらが一番楽しいようです。 ・保育園よりも、さくらの方が楽しいといつも言っています。	・引き続きお子さんが楽しく通所して頂けるようサービス向上に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	90	6			・かなり満足しています。 ・沢山お話を聞いて頂き、感謝です。 ・子どもが楽しみにしているので、通いやすく本当にありがたいです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		各務原市福祉の里児童発達支援事業所					公表日	令和7年3月13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・さくらの活動に関しては、適切な範囲であると思うが、他の施設の訓練や、相談が入ると、部屋が足りなくなることがある。	・早めに調整を行い、支援に支障がないようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・手厚く支援出来ていると思う。	・職員が多ければ、多くのお子さんを受け入れることが出来るが、センターとの兼ね合いで、運営を考えていく必要がある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・ブレイルームだけでなく、全ての部屋の天井や壁にフック等の器具を取り付け、物を吊るすことが出来るようにすると、遊びが広がると思う。	・環境整備について、今後の検討事項とする。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		・部屋の構造上、換気がしづらい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・年2回程度、面談を行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			・もっと、積極的に参加出来ると良いと思う。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・活動の反省や次週の活動の予定を組む時に、そのお子さんの目標について、職員間で共有することがある。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・標準化されたツールは無いが、発達特性を踏まえたアセスメントが出来ていると思う。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	各務原市福祉の里児童発達支援事業所		公表日 令和7年3月13日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・日々、情報共有を行っている。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	5		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		・今年度から、『親子遊びデイ』を通じて、お父さんへの関わり方を一緒に考えたり、提案したりする機会としている。 ・保護者の方向けの勉強会『さくらんぼトーク』を行っている。	・保護者向けの勉強会に、より多くの方に参加して頂けるよう、就学以外のテーマも取り入れると良いと思う。 ・必要な方に対して、『ペアレント・トレーニング』を実施出来ると思う。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		各務原市福祉の里児童発達支援事業所				公表日	令和7年3月13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	・卒園児の保護者の『座談会』を設けている。また、卒園児の保護者の方からお話を聞く等、交流する機会を持った。		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・訓練は実施しているが、周知していない。		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・避難訓練以外にも、不審者対応訓練等、様々な災害や危険に対する訓練を取り入れていくと良いと思う。		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7					